

令和6年度 現地検討会等実施状況 (技術の普及)

開催数：5

国有林	48
都道府県	19
市町村	12
森林組合	13
林業事業体（森林組合を除く）	2
研究機関	26
他省庁	0
その他	1
合計	121

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	特に効率的な施業を推進する森林の有無（国有林）	出席者	目的	内容	写真
令和6年度 相互交流見学会 （国有林見学）	10月29日	北空知支署	国有林258林班（ほか）		国有林 15 名	雨龍研究林・国有林相互の施業方法や林道等の事業の見学、試験研究情報等を共有するとともに、現地における議論・検討を行うことで北空知地域における森林施業等の推進をめざす。	①素材生産現場の見学と直近の木材市況と販売事業についての意見交換。 ②治山谷止工施設(コンクリ・校倉式)の見学と治山施設の概要・目的の説明。 ③ミズナラ樹冠下掻き起こし試験地の見学と、試験地概要説明、今後の同試験地の拡大・協力体制を確認。 ④クリーンラーチ植栽個所を見学し、北空知地域での植栽樹種の選択や施業方法について検討・議論。	
					都道府県 1 名			
					市町村 1 名			
					森林組合 1 名			
					林業事業体（森林組合を除く） 1 名			
					研究機関 14 名			
					他省庁 1 名			
					その他 1 名			
令和6年度 市町村・森林組合職員森林計画技術研修会	10月29日	主催：日高振興局森林室 共催：日高南部森林管理署	新ひだか町西川町国有林 新ひだか町役場		合計 30 名	スマート林業普及・定着	造林補助申請について、現地測量をせず、UAV画像から作成したオルソ画像を用いて申請可能となったことから、その詳細方法について指導を行った。	
					国有林 3 名			
					都道府県 8 名			
					市町村 5 名			
					森林組合 10 名			
					林業事業体（森林組合を除く） 1 名			
					研究機関 1 名			
					他省庁 1 名			
					その他 1 名			
					合計 27 名			

意見交換の様子

UAVの操作等について説明

令和6年度 現地検討会等実施状況

(技術の普及)

令和6年度 相互交流見学会 （雨竜研究林見学）	11月6日	主催 雨龍研究林	雨龍研究林 カラマツ天然更新試験地 ほか	国有林	13 名	雨龍研究林・国有林相互の 施業方法や林道等の事業の見 学、試験研究情報等を共有す るとともに、現地における議 論・検討を行うことで北空知 地域における森林施業等の推 進をめざす。	①更新補助作業方法に変化を持たせたカラマツ 天然更新試験地を見学し更新状況を確認・検 証。 ②ミズナラ掻き起こし箇所を見学し、掻き起こ し後のミズナラ更新のメカニズムと今後の施業 展開について議論・意見交換。国有林試験地へ のフィードバックを確認。 ③ブルドーザーによる路面整正施工地を見学。 強い路体作設方法について議論。 ④研究林での天然林施業の方法として、単木択 伐と同時に小規模の攪乱を加える方法を紹介。 ⑤原生老齢針広混交林を見学。北空知地域でめ ざすべき林分等について意見交換。		
				都道府県	名				
				市町村	1 名				
				森林組合	名				
				林業事業体（森林 組合を除く）	名				
				研究機関	12 名				
				他省庁	名				
				その他	名				
				合計	26 名				
林業ICTを活用した事業 地現地見学会	11月19日	胆振東部森林管理署	苫小牧市(植苗国有林1152 林班)	○	国有林	12 名	作業効率向上と安全作業を 支援するツールの普及	携帯電波の届かない林内でも、安定的なデジ タル簡易無線トランシーバーのデータ通信を利用 し、新たにインフラ整備を要せず、半径3km にわたり、作業者各自の端末で作業者や作業機 械の位置情報や林内境界表示・かかり木位置等 の情報が共有できるといった、主に作業効率向 上と安全作業の面で林内作業を支援するツール の実演及び意見交換を行った。	
				都道府県	11 名				
				市町村	2 名				
				森林組合	名				
				林業事業体（森林 組合を除く）	2 名				
				研究機関	名				
				他省庁	名				
				その他	名				
				合計	27 名				
遠軽地域森林整備推進 協定参加者間の広葉樹 勉強会	11月25日	網走西部森林管理署	瀬戸瀬 3 林班	国有林	5 名	町の林務に携わる担当者は 林業経験が浅いことから、樹 木の名前や特徴などを知って もらうため、広葉樹勉強会を 開催した。また、森林整備の 推進に向け、協定者間で幅広 く連携しあっていく事が必要 であることから、お互い顔を 合わせて、気軽に意見がいえ る関係づくりを行う。	落葉時期に収穫調査等を行うことがあること から、あえて秋の落葉時期の国有林の広葉樹が 多く生えている箇所で、勉強会を実施した。 まず 2 班に分かれてまず個人で樹種の判読を してもらい、次に班の中で回答をとりまとめ、 その後お互いに樹種を発表してもらった。 最終的に特徴等を説明しながら木の名前の正 答を伝え樹種名を覚えてもらった。次年度は展 葉時期に行う。		
				都道府県	名				
				市町村	3 名				
				森林組合	3 名				
				林業事業体（森林 組合を除く）	名				
				研究機関	名				
				他省庁	名				
				その他	名				
				合計	11 名				

意見交換の様子

支援ツール実演の様子

勉強会の様子